

学校だより

実りの秋、読書の秋、食欲の秋、
灯火親しむ秋、勉学に親しむ秋・・

夜明けが遅くなり、7時を過ぎないと明るくならなくなりました。反対に日暮れが早くなりました。季節の変わり目を迎えています。

私のふるさととは北陸の石川県です。11月ともなれば、初冬であり、冬支度に勤しむ様子が目に浮かびます。取り残した柿が一段と赤みを増している頃かと思えます。

運動会も終わり、今年も残すところ、あと2ヶ月となり、本日を入れて授業日は7回しかありません。園児、児童生徒の学業生活の進み具合も気にかかります。

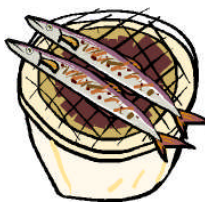


そこで、「秋」にちなんで少し物思いに耽りました。

「実りの秋」は、今までの学習活動の成果が確認できる、また、確認できるように努力することを指しているように思えます。



「読書の秋」「灯火親しむ秋」は、明るく暑かった戸外での活動から、秋の夜長心静かに、またはどきどきしながら読書に親しんだり楽しんだりして、自分を豊かにし、未知の世界への誘いを感じさせるように思う。



「食欲の秋」は、食材の味が兔にも角にも一段と増し、うまいものが多くなり、食が進む。ダイエットを考えながら腹八分目がよろしい。



そして「勉学の秋」。補習校、現地校問わず、宿題などの課題が多くあると思いますが、自分から進んで

課題を征服してください。お父さんやお母さんから「宿題したの?」と言われてからするのは、余り良くないと思います。言われた時点での学習は、既に受け身の学習スタイルになっています。学習は受け身とするより、自分から進んでの方が、余程自分のためになります。つまり、積極的に学習は、知識や理解が深まるものなのです。がんばってください。また、季節の変わり目です。健康管理に注意をしましょう。

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077
Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)
Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

INFOE 教育フェア

茗溪学園、玉川学園、立命館中高

10月7日(金)、8日(土)の2日間に渡って本校に馴染みの深い松本輝彦先生が主催する教育フェアが開催されました。



(INFOE 松本輝彦先生)さん相談に来ました。8日は補習校図書室で、松本先生が受験勉強の仕方や大学進学情報等について懇切丁寧に説明されました。同時並行で来校された先生と進学相談される方もいました。



(玉川学園・増田正雄先生) 参加者の多くがメモをとる



(立命館・酒井順平先生) など、近い将来での帰国に備えている様子が垣間見られました。尚、今回参加されませんでした。資料参加の学校もあり、その資料の残部が若干あります。必要な方は補習校職員室まで取りにきてください。



(茗溪学園・関寿子先生) わが子の進路選択で慌てる事態が多くなっています。より良い進路選択はどこの学校に転入・進学するかも大切なことではありますが、将来において、どのような人間になって、どのような職業選択をなし、どのような在り方生き方を求めるのか、という視点で、学校選択を考えたいと思います。

直接、日本から来ていただく説明会の開催は当地では希少です。わが子のより良い進路選択情報の獲得の場を逃さず、参加されることを期待します。松本先生はじめ参加各校の熱意に深く感謝致します。

本校においては、今後とも進学説明会や学校説明会を計画したいと思っています。保護者にありましては、「予期しない転勤で帰国」となり、

今、学校で・・・②運動会特集

たのしかったこう白リレー

小2B あんざい たく音 (辻村学級)

ぼくが一ばん心にのこったことは、紅白たいこうリレーで、初めてバトンをもってトラックをはしったことです。

ぼくは、はしるのが大すきです。なので、リレーのせん手をきめるきょうそうの時、ぜったいリレーのせん手になりたいと思いました。だから、リレーのせん手にえらばれてとてもうれしかったです。

れんしゅうを二回したけれど、当日は、とてもきんちょうしていました。

バトンをもつ手にけがをしていて、とてもふ安でした。

まなみちゃんがはしってきた時、上手にもらいたいと思いました。バトンをおとしてしまったくやしかったけど、一生けんめいはしりました。

来年のうんどう会でも、リレーのせん手にえらばれて、一ばんになってピカピカのトロフィーをもらいたいと思いました。

来年のうんどう会がまちどおしいです。

ハッスルリレー

小2B 前田夏なる (辻村学級)

うんどう会がはじまってから、きんちょうしすぎてぼくの頭の中はリレーのことでいっぱいでした。

一年生の時、リレーのせん手になりたいと思っていたけど、なれませんでした。

二年生の時、ぜったいにせん手になろうと思って走ったらリレーのせん手になれました。なりたいことがかなってとてもうれしかったです。

ついに本ばんがきました。リレーのれつに行こうとした時、みんなが、「かなる、がんばれ！」と、声えんがぼくの耳にとどいてきました。

ぼくはだんだん力がわいてきました。ぼくは前の人からバトンをもらおうと、ダーッとはしり出しました。エネルギーがみなぎって、レースカーのようにガタガタはしりました。一いになれなかったけれども、リレーのせん手になれたし、がんばってはしったら自分の心の中で一いになった気分でした。来年もリレーせん手になって一いになるぞと思いました。

放送係

中1B 一尾園子 (佐藤学級)

私にとって運動会で印象に残った事は、放送係をした事です。今年初めて係をしたのでとても不安でした。けれど、高校生の方々が手伝ってくれたので楽しかったです。みんなががんばっている時に、自分が思う事を言えるので楽しいです。きんちょうしていたので、ちょっとかんでしまいました。小学生だった時みたいに、ただ座って見ているより、手伝っている時の方がとても楽しいです。来年もがんばって係をしたいです。

初めての放送係

中1B 宮井日菜子 (佐藤学級)

今年は、中学生になってからの初めての運動会でした。いろいろ面白いこともありましたが、一番好きだったのは、初めての係です。

私は、放送をやってみたくて、放送係に入りました。最初は、とてもわくわくしていたのですが、原稿用紙をもらったとたん、

「こんなに沢山の言葉をリハーサルなしで、話さないといけないのか！」と、とても当日が怖くなっていました。

しかし、本番、話してみると、言葉をアドリブで入れたり、放送席から見てタイミングよく喋るのは少し難しかったけれど、とても楽しかったです。また来年も出来たらやろうと思います。そのときは、高校生の方を見習って、もっと運動会を盛り上げられるような、楽しい放送をしたいと思います。

運動会

小3B 本村 奏 (大津学級)

運動会がありました。一番心にのこったのは閉会式の点数でした。みんなが集まって私たち赤組は楽しみにしていました。お姉さんが、

「赤組、三百二点、、、。」と言いました。ちょっと待って、お姉さんがにっこりしているのをじっと見ていました。私は白組の点数が三百二点よりも少ないように思いました。

「白組、三百五点！」いつの間にか、白組の方が大きな声を出したり、ぴよんぴよんとんだりしていました。でも、赤組はおこった顔をして、白組の方を見ていました。あと三点だったのに。くやしかったです。

車の方に歩いていると中、私の友だちが走ってきました。私は、「私、運動会でかったことがない。」と言いました。すると、友だちが、「私、負けたことがない。」と言いました。

来年は、かちたいと思いました。

二人三きやく大しっばい!

小3B 砂田恵葉 (大津学級)

ヒューストンのまだちょっと暑い秋にうんどう会がありました。わたしが一番がんばりたいと思ったのは二人三きやくでした。さいしょに百パーセントできると思ったのですが、わたしたちの番になったらちょっときんちょうしてきました。ベストを早く着たのはよかったけど、はるかちゃんとわたしは一番さい後でした。ベストを着たらもうスピードで走りました。ひもをむすんだ時ちゃんとむすんでなかったみたいで、ちょっとだけ足がはなれちゃって、草がぬれてたからすべって転んでしまいました。手がどろだらけです。立ち上がった時、「ああ。もう少しで白組を追いこす所だったのに。」と、思いました。

「赤組がんばれ！」の声がひびきました。

ケーキのために捧げたリレー？！

中3 岡本リオ (恩田学級)

全てはケーキから始まった。

僕は今年の運動会の中高生部リレーでアンカーを務めることになっていた。

リレーも始まり僕のチームは頑張っていたが、白組に負けていた。僕は必死にみんなを応援しながら、心の中でもしかしたら負けるかもしれない、でも最後まで諦めてはいけないと思っていた。

そんな時ケーキの女神が現れこう言った。「一位か二位になったらケーキを焼いてきてあげる。」僕はこの時今までにはないパワーを感じた。リレーはすでに僕の前の選手になっていたが、高校生の選手が頑張ってくれたおかげで一位になっていた。バトンを受け取り半周したところで白組の二位と三位が追いついてきたが、みんなの応援を耳にしながら、とにかく僕は必死に走った。ゴールも目の前まで来た時、「ケーキの為に、いや、赤組の為に一位を守り抜く！」と走り抜いた。

自分でもよく分からなかったが、ゴール直後にテープが僕の胴体に巻きついていて、「一位赤組。」と言う声があったので勝ったことが分かりとても嬉しかった。

僕はチームみんなで勝ち取ったトロフィーの重さを感じながら、みんなで力を合わせて頑張った両赤組白組のみんなを心から誇りに思った。おかげで補習校生活の中でまた一つ良い思い出ができた。(最後に気になるケーキだが、約束どおり焼いてきてくれた。みんなで食べる勝利のケーキは一段と美味しかった。)

紅白リレー強制 選手

中3 油井香奈 (恩田学級)

気持ちの良い青空の下で 運動会が行われました。私にとって補習校に来て初めての運動会でした。

この運動会で1番心に残っているのは、やはり、人数の関係で強制的に出場した、紅白リレーです。こんな大切な競技を、足の遅い私が走って大丈夫なのだろうかと思いました。皆、速そうに見え、責任をひしひしと感じました。

いざグラウンドに立つと、沢山の人が興味深そうに、こちらを見えています。緊張して心臓が高鳴りました。何とか3位になりたいと思いましたが、順位は同じままでした。最終的には他のメンバーが差を縮め追いついて、1位を取ることが出来本当に嬉しかったです。やはりリレーは最後まで何が起こるか分からないなと思いました。来年は、多分強制選手として出場する事はないと思いますが、リレーの時は、私のような強制選手がいるかもしれないので、特に応援を一生懸命したいと思います。

また、一般的な感想ですが、補習校の運動会は 幼稚園児から高校生までが、行事を成功させるために一致団結していました。これは、日本の運動会では見られないとても素晴らしいことだと思いました。

係り活動は楽しい

中3 リッテンマイヤー 殊乃 (恩田学級)

各学年の競技が始まった頃には、肌寒かった秋空はすっかり真夏のようなジリジリとした太陽の夏空に変わっていました。

審判係りだった私は担当の先生の大声の指示に従って、低学年リレーのグラウンドで係りの仕事をしていました。

必死で走ってくる姿を見ていると、「可愛い～」とほのぼのとした気持ちになって来ました。途中で聞こえた放送係りの老田君とヘインズ君の声に「あの二人もやってるな。だいじょうぶかな。」と思いましたが、予想通り？ヘインズが噛みまくっていたので笑ってしまいました。次の日、日ごろの運動不足で筋肉痛でしたが、楽しい運動会をみんなで作れてよかったと思いました。

僕はヒーロー

中3 老田圭佑 (恩田学級)

10月15日、補習校で運動会がありました。

僕はリレーに出てアンカーでしたが審判の判定で、3位と言う不本意な結果に終わってしまいました。自分は、最後に絶対抜いた！！と思っていたので、結果がとても意外でした。大変悔しく思いました。

しかし僕たち白組は総合優勝出来ました。ぼくはトロフィーを貰う役になっていたの、校長先生からトロフィーを貰いました。すると後ろの小学生たちが「握手し



て！ 見せて、見せて！」と、僕はスーパーヒーロー扱いされてしまい、ちょっとうれしかったです。

運動会が終わったあとみんなで写真を撮ろうとしたのに、重要なトロフィーが消えているなどハプニングはありましたが、中学校最後の運動会を楽しくすごせました。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
放送係りの実況中継、素晴らしかった。聞いていて心が沸上がった(校長)



